**【第２次産業革命と独占資本】**

・〔①　　　　　　　　　〕の進展　→　　法・制度の改変

資源と市場の必要性　　　　→　**植民地獲得**をすすめる

・競争の激化と企業の集中　　　　　→〔②　　　　　　〕の形成　　　　　　**帝国主義**の時代へ

**【帝国主義列強による世界分割】**

・アフリカの分割…ベルギーのコンゴ領有がきっかけ→ベルリン会議（1884～85年）

　イギリス：**南アフリカ戦争**に勝利→南アフリカ連邦成立/エジプトから南進

　フランス：アルジェリアから東進　　　　　　　　　　　　　　〔③　　　　　　　　　〕（1898年）

　ドイツ：英仏の植民地に挑戦→英仏は対独で接近→**英仏協商**（1904）

・太平洋の分割

　イギリス：オーストラリア，ニュージーランドの開拓

　アメリカ：ハワイ併合，フィリピン・グアム領有（米西戦争勝利による）

**【帝国主義下の欧米】**

・第二次産業革命の進展→ホワイトカラーの増加/都市化の進展/国家機能の拡大

都市環境の悪化/労働運動の激化（第２インターナショナル結集）

　　　　　　　　　　　　世界的な人口移動（**移民の増加**）

・国民統合の試み（社会変化と人々の不満を和らげるための国家の試み）

**福祉政策の**実施/国民意識の醸成

・非欧米地域への優越感（社会進化論・国民不満のはけ口として）

　　　　　　　　　　　　反ユダヤ主義/非欧米への偏見/黄禍論

**Q1. 欧米列強はなぜ植民地獲得をめざしたのだろうか。**

**【日本の動き（条約改正と対アジア外交）】**

・対欧米（**条約改正**）

　…〔④　　　　　　　〕の撤廃，〔⑤　　　　　　　〕回復をめざす

　　→**欧化政策**の推進（鹿鳴館時代）→ノルマントン号事件（1886年）で国民の反発

　　→〔④〕撤廃…日英通商航海条約（1894年）　〔⑤〕回復…日米通商航海条約（1911年）

・対アジア（福沢諭吉：『〔⑥　　　　　〕』）

欧米列強と同様にアジアに向き合おうとの姿勢（日朝修好条規による不平等条項など）

**【日清戦争（朝鮮をめぐる日清の争い）】**

・〔⑦　　　　　　　　〕（1894年）→日清の衝突…日清戦争（1894年）

→**下関条約**（**朝鮮の独立**/遼東半島・台湾・澎湖諸島の日本への割譲/賠償金など）

→三国干渉（露・仏・独）/清の〔⑧　　　　　　〕崩壊→列強の**中国分割**加速

　　日本国内ではアジアへの優越意識・文明国の一員との国民意識が醸成される

　　朝鮮は〔⑨　　　　　　〕となる（1897年）

**【日露戦争から韓国併合へ】**

・**戊戌の変法**…清の改革運動（日清戦争後の列強の進出への対応として）→保守派により終了

・〔⑩　　　　　　　〕（1900年）（「扶清滅洋」を唱える排外運動）

→清の列強への宣戦→８カ国連合軍による鎮圧→北京議定書により**清の従属化**がすすむ

・日露の対立…日本は**日英同盟**（1902年）を後ろ盾にロシアとの対立を深めた

　→朝鮮半島と満洲をめぐり衝突…**日露戦争**（1904年）

→**ポーツマス条約**（セオドア=ローズヴェルトが調停）

　→日本の朝鮮半島支配の加速/イラン，オスマン帝国，ベトナムの民族運動を後押し

**【日清・日露戦争後の日本】**

●**韓国併合**

　・韓国統監府設置（1905年）　初代統監：伊藤博文　　　韓国は反日義兵運動/伊藤博文暗殺

　・〔⑪　　　　　　〕（1910年）…**朝鮮総督府**を中心に「同化」教育の推進/土地調査事業

●**産業革命の進展**（19世紀末より）

　・繊維製品の輸出国へ　**生糸**（器械製糸の普及）/**綿織物**（大規模紡績工場設立と機械化の進展）

　・日清戦争後の変化（賠償金をもとに**金本位制**へ移行/**官営八幡製鉄所**の設立）

　　→重工業の成長/財閥の誕生/鉄道網の整備

　・**社会問題**の顕在化

　　都市と農村の格差拡大/資本家と労働者の格差拡大

　　→社会民主党結党（1901年）→治安警察法で解散/**大逆事件**（1910年）

**Q2. 日清・日露戦争により，東アジアの国際関係はどのように変化したのだろうか。**

**【アジア諸地域の民族運動】**

・帝国主義支配により植民地化→他方で，産業の成長，西欧近代思想の普及

　　　　　　　　　　　　　　　→独立を求める民族主義運動活発化

●**オスマン帝国とイランの立憲運動**　　※日露戦争でアジアの日本がロシアに勝利した事が影響

・オスマン帝国：〔⑫　　　　　　　　　　〕（1908年）→ミドハト憲法の復活

・イラン：**イラン立憲革命**（1905年）→立憲政治の実現

●**インド**

　・イギリスによる〔⑬　　　　　　　　　〕（1905年）

→ムスリムとヒンドゥーの分断により反英運動を抑えるねらい

　　→**国民会議派**が「スワデーシ（国産品愛用）」「スワラージ（自治獲得）」「英貨排斥」「民族教育」を唱える

　　→イギリスが**全インド=ムスリム連盟**結成を後押し

●**東南アジア**

　・インドネシア：サレカット=イスラムの活動

　・ベトナム：ファン=ボイ=チャウらによる**ドンズー（東遊）運動**　※日露戦争での日本勝利が影響

●**中国**

　・変革の動き

　　→体制内の変革（光緒新政）…**科挙の廃止・憲法大綱の公布**

　　　民間の革命運動→東京で〔⑭　　　　〕による**中国同盟会**結成（1905年）→**三民主義**を唱える

・革命の勃発

　　→清朝政府による鉄道国有化計画（1911年）→民族資本の反発/軍の蜂起

　　→〔⑮　　　　　　〕1911年）…**中華民国**成立　臨時大総統：〔⑭〕

　　→〔⑯　　　　　〕により**宣統帝**退位（清の滅亡）

　　　　袁世凱が臨時大総統に就任，死後各地に軍閥割拠

**Q3. 列強の進出にアジア各国はどのように対応したのだろうか。**

**＜全体の主題の問い＞帝国主義によって，列強とアジア・アフリカの社会は，それぞれどのように変化したのだろうか。**

**＜Try＞植民地支配によって生じた問題は，現代世界にどのような影響を与えているのだろうか。**